

各地の自然災害で被災された方々、戦禍の中にある方々に、心からお見舞い申し上げます。  
神様の慰めと助けがありますように、お祈りしております。

8/24(日)15:00~

## 森繁昇 サマーコンサート



今年で24回目になります。楽しいお話と歌は何度聞いても心に届きます。

9/14(日)15:00~

## 田中恵子トークコンサート

素敵なピアノ演奏の合間に楽しいトークを交えた、心和むコンサートです。お友達と一緒でも、お一人でも楽しんでいただけます。



田中恵子 (ピアノ)

神戸市在住。神戸山手女子高校音楽科、同短期大学、専攻科ピアノ専攻卒。音楽工房GraceK&Kを主宰。神戸中央教会会員・同オルガニスト。関西聖書神学校器楽実習講師。更生就労支援講師。

どちらのコンサートも入場無料、またライブ配信を教会のホームページからご覧いただけます。

### 教会からのオススメの一冊

#### 「ヒロシマ」[増補版]

ジョン・ハーシー 著  
石川欣一・谷本清・明田川融 訳  
(法政大学出版社)

ハリウッドの巨匠ジェームズ・キャメロン監督が、今年80年の節目を迎えた広島を題材にした作品を手がけると、話題になっています。“太平洋戦争を終結させるために原爆投下は正当だった”と、主張する声大きいアメリカで、それに疑問を投げかける動きが、このようなところにも見られるのです。

今回で紹介する「ヒロシマ」の著者ジョン・ハーシーは、1946年4月に記者として広島を訪れたジャーナリストです。彼は、現地で出会った6人の被爆者を取材します。外国人神父や牧師を含む彼らは、原爆が投下されたとき、奇跡的に生き残った人たちでした。本書には、彼らが体験し、目撃し、感じた生の証言が淡々と綴られており、読む者にむごさ、不条理さ、痛ましさを切々と訴えかけます。

ハーシーの取材記事は、本国の新聞に全誌面を埋めて掲載され、一日で30万部を売り切るというセンセーショナルな巻き起こりました。その年に

単行本としても刊行され、当時、原爆がもたらした被害について、ほとんど何も知らされていなかった人たちの目に触れることになりました。また、アメリカの学校では社会科の副読本として採用され、長く読まれていたそうです。読んだ人たちの心に何を刻みつけたのでしょうか。そして今、日本に生きる私たちに、この本は何を刻みつけるのでしょうか。

それは、原爆の悲惨さが、人が持つ悪の心の結果だということです。人が起こす戦争ではありますが、突き詰めると、それは、人が抱える罪の心が起こすものです。罪の心がある限り、人は憎み合い、争い合い、戦争がなくなることはありません。この罪の問題を解決できるのは、キリストだけです。聖書に、「実に、キリストこそ私たちの平和です」とある通りです。キリストのもとで罪を赦され、キリストの救いをいただくとき、初めて人は心に本当の平和を持つことができます。心にキリストの平和をいただいた人が、本当の平和を実現することができるのです。あなたも、キリストの平和をいただきませんか。



# 宝塚栄光教会 牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com https://www.takara-eikou.com

礼拝 毎週日曜日  
10:30~11:40

希望のダイヤル (聖書のお話)  
0797-77-3746  
毎週更新。24時間つながります。  
ホームページからも利用できます。

インターネットでも  
配信中



わたしたちは世界平和統一家庭連合(旧・統一協会)、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。

夏の木々が枝をのびし 葉をひろげて 木かげをつくっている



## ただ信じなさい

イエス・キリストのもとに、ヤイロというユダヤ教の会堂管理人が、深刻な願い事を持ってやってきました。重病で死にかかっている一人娘を救ってほしいというのです。キリストは、すぐに出向こうとされました。しかし、途中で割り込みがあり、手間取っておられるうちに、ヤイロの娘は死んでしまいました。もはや万事休す。ヤイロには、何の望みもなくなってしまいました。

ところが、キリストは、娘の訃報を聞き流すようにして、こう言われたのです。「恐れなさい、ただ信じなさい。そうすれば、娘は救われます」。もう死んでしまったのに、「救われます」とはどういうことでしょうか。また、今さら何を信じなさいと言われるのでしょうか。キリストを信じなさいと言われるのです。

ヤイロは、言われた通りに、キリストを信じました。キリストは、ヤイロの家に行き、冷たくなり始めた娘の手を取って起こし、生き返らせなさいました。キリストの言葉の通りになったのです。ヤイロがキリストを信じたから、キリストはすばらしいみわざを

行われたのです。

キリストは、いつも私たちに「恐れなさい、ただ信じなさい」と言われます。キリストは、私たちの内にみわざを行いたいと願われます。それは、まず罪からの救いです。罪とは、私たちの心が神様から離れていることです。私たちは、まことの神様を知らないで、自分勝手な道を歩んでいました。そのままでは滅び行く者でした。そのような私たちのために、罪のないキリストは十字架にかかり、命を捨ててくださいました。私たちが罪を悔い改め、キリストの十字架を信じれば、全ての罪が赦され、私たちは救われます。

キリストは、この救いのみわざを私たちの内に起こそうとされます。私たちがキリストを信じれば、私たちは必ず、約束通り救われるのです。

あなたは、苦い罪の思い出に縛られて、苦しんでおられません。重い荷物を背負って、悩んでおられません。「恐れなさい、ただ信じなさい」と言われるキリストのもとに行きましょう。



「マルバタケブキ」 — 夏を彩る山の花 —

長野県高ボッチ山で 夏になると  
目を引く 背の高い黄色の花  
マルバタケブキ (丸葉岳落) である  
標高の高い場所に生えるので 「岳落<sup>タケブキ</sup>」と名付けられたという

明るい林の下や 少し湿り気のある草地に  
生える多年草で 群落をつくる花だ  
葉は <sup>フキ</sup> 落の葉に似ているようにあるが  
長さも幅も 30cmの大きな葉である  
葉は2枚出て 根元で茎を包んでいるように見える  
ぐーんと伸びた茎は 1m以上になる  
1つの茎の先端に 5~6個の 大きな黄色い花をつける  
花は 8cm程の大きな花である  
牛もシカも この花は食べないので  
群生している所が多くなっている

マルバタケブキの歴史は古く  
その起源は 中国にあることが知られている  
日本には 江戸時代に入ってきたという

主に向かって 声をあげれば  
聖なる山から 答えてくださいます  
身を横たえて眠り わたしはまた 目覚めます  
主が支えていてくださいます

詩編3編 (聖書)